

第7回大会プログラム

日 時 41年12月1日(木), 2日(金) 午前の部 9.30~, 午後の部 13.30~

場 所 A 会 場: 日本科学技術情報センターホール

B 会 場: 電気試験所会議室

両会場とも: 東京都千代田区永田町2の1(都電・バス=溜池, 地下鉄=議事堂前, 下車)

講演次第

1日午前の部

会長挨拶[A](9.30~9.40)

招待講演[A](9.40~10.20)

欧米を視察して—ICC総会, 鉄道その他における

電子計算機の利用など

山下英男(東洋大)

—— 休憩(10.30再開) ——

一般講演[A](10.30~12.40)

座長 穂坂 衛(東大)

1. パタンマッチングによる文字読取の実験

高橋秀俊, 後藤英一, 中川圭介(東大)

2. Synaptic Elements によるパターン認識

磯道義典(電試)

3. TapeおよびListによる図形の表現

相馬 嵩(理化学研)

4. 科学用電子計算機における出力作図方式 高橋理, 井上雄次, 猪苗代勉, 大泉充郎(東北大)

5. 多元パラメータ解析装置

桜井良文, 尾崎 弘, 谷口慶治(阪大)

佐々木寛隆, 大倉邦彦, 明田礼三(松下電)

6. コンピュータによる経済産業の予測と情報処理

矢矧晴一郎(富士銀)

1日午後の部

一般講演[A](13.30~17.00)

座長 元岡 達(東大)

7. On-Line Computing と Control の研究

穂坂 衛(東大宇航研)

8. On-Line Computing と Control の特殊機器の研究

穂坂 衛, 梶原景範(東大)

山田邦光(日立)

9. 設計の自動化の自由曲面設計への適用

穂坂 衛(東大宇航研)

10. 設計の自動化と機械工業への応用

遠藤 誠, 穂坂 衛(")

—— 休憩(15.05再開) ——

11. On-Line Computation (1) - ブロックダイヤおよび入出力 穂坂 衛, 越川和忠(東大宇航研)

12. On-Line Computation (2) - Optimizing Control

松岡秀雄(")

13. 小型 On-Line Time Sharing System

松岡秀雄, 穂坂 衛(")

14. CRT を用いたプログラム・デバッグ

大須賀節雄, 穂坂 衛(")

15. 情報処理とシステムの内部トラフィック・コントロール

大須賀節雄(")

2日午前の部

招待講演 [A] (9.30~10.10)

I R用ソフトウェアとその周辺

渡 辺 茂 (東 大)

—— 休 憩 (10.20 再開) ——

一般講演 [A] (10.20~12.30)

座長 間野浩太郎 (鉄 研)

16. 貨物情報処理のシミュレーション

大野 豊, 井上晴雄, 関米四郎 (鉄 研)

浅賀英雄, 武藤恒夫 (国鉄), 山元ヒサ子 (日電)

17. GPSSII によるヤードシミュレーション

中西俊男, 近谷英明, 佐藤章, 木村幸男 (鉄研)

18. NEAC-2206 の LISP について

安井 裕, 立花道明, 山本昌弘 (阪 大)

19. ネットワーク処理のプログラムに関する一考察

小原啓義, 寺本雅則 (早 大)

20. RGP-Report Generation Program

藤 田 輝 昭 (三井生命)

21. 電子計算機の使用時間と記憶容量の利用

中島和夫, 有田五次郎 (九 大)

22. SNOBOL コンパイラの試作

清野 武, 星野 聡, 佐藤克彌 (京 大)

一般講演 [B] (10.20~12.10)

座長 森 口 繁 一 (東 大)

23. Digital 計算機による Boolean Matrix の解法

門倉敏夫, 宮下兼吉, 西園寺公友,

宇都宮公訓 (早 大)

24. 最適再帰分割法による行列逆転について

伊 倉 一 孝 (東 大)

25. 非対称パラメータを用いた ADI 法

林 重 憲, 立 山 尚 武 (京 大)

26. ランダムウォーク・プロセスを利用した乱数検定

石 紘 正 士 (阪 大)

27. 一元高次方程式の解法 (複素係数)

平 野 菅 保 (建設コンサルタント)

28. 商差法による対象行列の固有値解法

清野 武, 星野 聡, 岩本鉦二 (京 大)

2日午後の部

一般講演 [A] (13.30~16.45)

座長 後 藤 以 紀 (明 大)

29. HIPAC 103 による HARP 5020 のソースプログラムのエラ・チェック

田中 一, 村田茂昭, 柄内香次, 遠藤 修, 塩崎洋一, 江丸敏夫 (北 大)

30. NARCII 言語プログラムから HARP 5020 言語プログラムの変換

小畑征二郎, 大泉充郎, 高橋 理, 桂 重俊 (東北大)

31. OKITAC 5090-M による HARP ソースプログラムのエラ・チェック

後藤以紀, 大竹政光, 井上郁代, 石網豊子 (明 大)

32. FACOM 222 による HARP ソースプログラムの形式処理と簡単なエラ・チェック

柳沢 健, 当麻喜弘, 池上徹彦, 伊賀健一 (東工大)

33. NEAC 2203 による HARP 5020 のチェックルーチン

小玉忠弘, 藤野洋治 (名 大)

34. KDCI による KDCII (HITAC 5020) 用紙テープの編集

清野 武, 星野 聡, 藤井康雄 (京 大)

35. 九州大学計算センタープログラム

高田 勝, 牛島和夫, 有田五次郎 (九 大)

一般講演 [B] (13.30~16.30)

座長 清 野 武 (京 大)

36. 誤差評価能力をもつ Runge-Kutta 公式について (続報)

田 中 正 次 (山梨大)

37. ある種の半線型楕円型偏微分方程式の数値解法

萩 原 博 (大谷大)

38. 線型同次微分方程式における級数解の数値計算

伊藤千秋, 相川孝作 (山梨大)

39. 常微分方程式の数値解法の誤差評価の一方

新 美 吉 彦 (愛知工大)

—— 休 憩 (15.05 再開) ——

40. Factorial Series と漸近級数との相互変換による関数の数値解とその応用

新 美 吉 彦

41. 平方根の有理関数近似

二 宮 市 三 (名 大)

42. 変形ランダムウォークによるラプラス方程式の解法

清野武, 星野聡, 市田浩三 (京 大)

大会参加費 600 円 (予稿集代 500 円を含む)